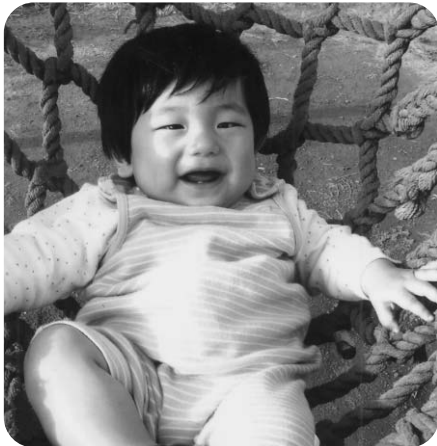




かいり 海里ちゃん (平成19年3月27日生)
両親＝向後和紀・有希さん〔口〕
「海のようにでっかるよ。」



きらら 姫蘭ちゃん (平成19年8月2日生)
両親＝山田和弘・さやかさん〔二〕
「夏にはお姉ちゃんになります。
仲良くしてね♡」



ゆい 優衣ちゃん (平成17年12月29日生)
両親＝伊藤雅之・紀代美さん〔新町〕
「食欲旺盛！いつもお兄ちゃんの
ごはんを狙ってます。」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 ―旭モノ語り― 第三十三回

矢指が浦鰯網

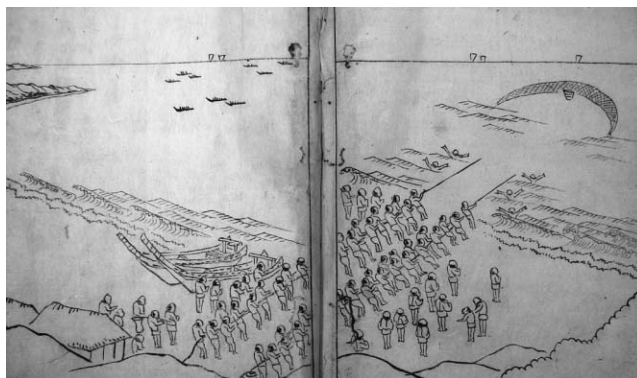
前回に引き続き、宮負定雄の「下総名勝図絵」からの紹介です。

この図版は九十九里浜の地引網の様子が描かれたもの。本文中に「矢指が浦鰯網」の解説が次のように書かれています。

「鰯網には三艘張と地引網とがある。三艘張は、沖で三艘の船で網を張って捕る方法で、人数は三十人ほどを要する。一方、地引は、大網に綱を二筋つけて、六十〜七十人で陸まで引いてくるものである。鰯が寄ってくるときは、沖にかもめという鳥が集まってくるので、それを見て船に乗って網を張りにいくのである。鰯は砂浜に干して干鰯にするか、もしくは煮て油を取り、粕を乾かして俵につめ、他国に運送し交易する。」

江戸時代の終わり、九十九里浜の地引網に及ぶものなしといわれ、日本第一の漁業としてにぎわいをみせていたところのことです。春から夏にかけての水揚げの季節には、浜が干されたイワシで埋めつくされ、出店が軒を連ねていたといいます。

当時のイワシは食用ではなく肥料として流通していました。そのまま



十日間ほど乾燥させたものは干鰯煮てつくられたものが粕です。こうした魚肥は化学肥料にその座を奪われるまで、商品作物の栽培には欠くことのできない存在でした。

現在、飯岡漁港は日本を代表するイワシ水揚げ漁港です。そして、イワシは農産物を介することなく、直接私たちの胃袋を満たすことも身近な食材となりました。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 5日(土) 袋公園桜まつり 演芸&子どもゲーム大会
二中入学式
- 6日(日) 春の全国交通安全運動(〜15日)
- 7日(月) 中央・富浦・矢指・古城小・海上中入学式
- 8日(火) 市内小中高校入学式(上記の学校を除く)
- 10日(木) 旭中央病院附属看護専門学校入学式
- 29日(火) 昭和の日

編集後記

今日から新しい生活が始まるという方が大勢いらっしゃることと思います。胸には希望や夢が膨らむのと同時に、不安や将来への焦りが沸き起こる。特に新入生や新社会人の皆さんは、本当に色々な感情が駆け巡っていることでしょう。そんな中、今日四月一日、新しい第一歩を踏み出す日です。西洋では、三月の風と四月のわか雨とが五月の花をもたらすというそうです。三月の巣立ちと四月の出会い、皆さんにとって、将来どのような花を咲かせてくれるのでしょうか。

(一)